

(注：本要請書の原文は英語。)

2014年2月3日

国際協力銀行

総裁 渡辺 博史 様

私たち 27ヶ国の 90 市民団体は、国際協力銀行（JBIC）の石炭関連事業への融資に関わる問題について、貴行の注意を喚起し、インドネシア中部ジャワのバタン石炭火力発電所の建設計画に対して検討中の融資を行なわないよう貴行に求めます。同バタン石炭火力発電所の計画はすでに遅延、論争、そして、地元の反対の声に悩まされてきました。私たちは、バタン石炭火力発電所への融資計画を貴行が取り止め、また、海外向け石炭関連事業への融資終息に向けて広がりつつある国際的なコンセンサスへの仲間入りを果たすよう、貴行に強く要請します。

1. インドネシア国内法への違反

バタン石炭火力発電事業は、すでに幾つかの点で、インドネシアの国内法に違反しています。官民連携（PPP）事業である同事業は、電力事業の融資調達を 1 年以内に終えることを要件とした大統領令第 67 号（2005 年）（大統領令第 13 号（2010 年）、同第 56 号（2011 年）により改正）に従わなくてはなりません。同事業の保証契約は 2011 年 10 月 6 日に署名され、2012 年 10 月 6 日が融資調達の期限日とされました。しかし、同事業は地元の反対により遅れ、融資調達期限は 2 年連続で延長され、2014 年までとされました。¹

さらに、同発電所計画は、政令第 26 号（2008 年）の下で、地方の海洋観光目的で海洋保護区に指定されているウジュンネゴローロバン沿岸域を侵害します。同発電事業の計画では、一部、海上でも建設作業を行ない、保護区を侵害するため、空間計画に関する中部ジャワ州規則第 6 号（2010 年）にまさに違反します。したがって、同事業は、「プロジェクトは、プロジェクトの実施地における政府（国政府及び地方政府を含む）が定めている環境社会配慮に関する法令、基準を遵守しなければならない。」を要件とする環境社会配慮確認のための国際協力銀行ガイドライン（以下、JBIC ガイドライン）に違反しています。

2. 地域コミュニティによる反対

7,000 人以上の村人が、同発電所の建設計画に関する懸念を表明してきました。地元の 50 人の土地所有者は、発電所の計画に必要な 226 ヘクタールのうち 55 ヘクタールの土地を売却することを拒んでいます。地域コミュニティは、ジャカルタや地元で 22 回にわたる抗議活動を行ってきました。2013 年 7 月 22 日には、バタンの地元住民約 180 人がジャカルタの日本大使館前で抗議活動をしました。その翌週 7 月 30 日、地元当局と軍は抗議活動の参加者に対し、暴力的な行為に訴

¹<http://www.bloomberg.com/news/2013-10-04/j-power-partners-delay-4-billion-indonesia-coal-power-plant.html>

え、地元の報道によれば、17人が負傷する結果になったということです。こうしたことから、JBICガイドラインで要件とされている「社会的合意」を同事業が得ているとは言い難い状況です。

また、地元住民は、発電所が彼らの生計手段や健康に及ぼす影響を懸念しています。同発電所の建設が進めば、肥沃な農地が破壊されます。発電所からの排出物によって、10,000人以上の漁民が生計を立てている地方の沿岸域が汚染されます。同発電所からは、年間約226キログラムの水銀が排出されると推定されます。たった0.907グラムの水銀でも、0.1平方キロメートルの面積の池で魚が食用に適さなくなる可能性があります。²

3. 石炭関連事業への公的融資ストップの流れ

2013年、広がりつつある国際的なコンセンサスのなかで、幾つかの金融機関と政府は、海外向け石炭関連事業への融資カットの意思を表明しました。米政府、北欧5ヶ国、世界銀行、欧州投資銀行、欧州復興開発銀行はすべて、石炭関連事業への融資について、より厳しい水準の設定措置を講じました。JBICはそうした例に倣い、海外向け石炭関連事業への融資停止を実施すべきです。

4. インドネシアの温室効果ガス排出削減目標

気候変動対策について、インドネシア政府は主要なイニシアチブをとってきました。2009年、同政府は、2020年までに温室効果ガス排出量を26%削減することを公表しました。しかしながら、バタン石炭火力発電所一つで年間1,080万トンの二酸化炭素を排出することになるでしょう。もし、石炭火力発電所が建設され続ければ、インドネシアの電力セクターによる排出量は2020年までに倍になる可能性があります。³ もし、私たちが破壊的な気候変動を回避する可能性があるとするれば、科学者によれば、私たちは産業革命以前の水準から世界の気温上昇を2°C未満に抑えなくてはなりません。私たちは世界の二酸化炭素排出量の40%以上の原因となっている石炭（の利用）を段階的に削減しなくてはなりません。同石炭火力発電所に必要とされている40億ドルは、コスト競争力を増してきており、かつ、コミュニティや健康、環境への負の影響を回避する再生可能エネルギーの促進に振り向けられるべきです。

最後に、私たちはJBICに対し、以下のことを要請します。

- (i) 事業実施主体やインドネシア政府にのみ(情報を)依存するのではなく、現地調査を実施し、地元住民やNGOと直接対話することで、上述の懸念についての確認を行なうこと。
- (ii) 環境影響評価や移転行動計画を含む、同事業の環境社会関連文書をインドネシア語と英語の両言語で公開すること。
- (iii) インドネシア・バタン石炭火力発電事業への融資を拒否すること。
- (iv) 石炭関連事業への融資を止め、日本の革新的技術を活用したよりクリーン、かつ、より持続的な再生可能エネルギー事業への支援を公約に掲げる政策ステートメントを公式に発表すること。

²<http://www.greenpeace.org/seasia/id/press/releases/Batang-Coal-fired-Power-Plant-Will-destroy-health-and-livelihoods/>

³ 同上

貴行にご考慮いただき、ご回答いただけますようお願い申し上げます。

連絡先：

国際環境 NGO FoE Japan

〒171-0014 東京都豊島区池袋 3-30-22-203

Tel: 03-6907-7217 Fax: 03-6907-7219

「環境・持続社会」研究センター (JACSES)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-3-2 三信ビル 401

Tel: 03-3556-7325 Fax: 03-3556-7328

気候ネットワーク

〒102-0082 東京都千代田区一番町 9-7 一番町村上ビル 6F

Tel: 03-3263-9210, Fax: 03-3263-9463

本レターは以下の 90 団体から賛同を得ています。

350.org

Asian Peasant Coalition

Carbon Market Watch

Climate Action Network (CAN) Europe

ECA Watch

Focus on the Global South

Greenpeace International

The Alliance for Future Health, Australia

Bimblebox Nature Refuge, Australia

Friends of the Earth Australia

Friends of the Earth Brisbane, Australia

Front Line Action on Coal, Australia

Market Forces, Australia

ECA Watch Austria

GLOBAL 2000 - Friends of the Earth Austria

11.11.11, Belgium

Center for ecology and energy, Bosnia and Herzegovina

National Committee for the Defense of Flora and Fauna (CODEFF) - Friends of the Earth Chile

Greenovation Hub, China

Zelena akcija - Friends of the Earth Croatia

Egyptian Center for Economic and Social Rights (ECESR), Egypt

Les Amis de la Terre - Friends of the Earth France

Bund für Umwelt und Naturschutz Deutschland (BUND) - Friends of the Earth Germany

Urgewald, Germany
Conservation Action Trust, India
Himal Prakriti - A Trust for Nature., India
National Adivasi Alliance, India
South Asian Dialogues on Ecological Democracy (SADED), India
BALIFOKUS Foundation, Indonesia
Greenpeace Indonesia
IMPARSIAL - The Indonesian Human Rights Monitor, Indonesia
Indonesian Women's Coalition, Indonesia
Institute for Essential Services Reform (IESR), Indonesia
International NGO Forum On Indonesian Development- INFID, Indonesia
JKLPK (Jaringan Kerja Lembaga Pelayanan Kristen)(Christian NGO's Networking), Indonesia
Suara Perempuan Desa (SPD) (Rural Women's Voices), Indonesia
Wahana Lingkungan Hidup Indonesia - Friends of the Earth Indonesia
ReCommon, Italy
A SEED JAPAN, Japan
Finance GreenWatch, Japan
Friend of the Earth Japan
Japan Center for a Sustainable Environment and Society (JACSES) , Japan
Japan Tropical Forest Action Network (JATAN), Japan
JUBILEE KYUSHU ON WORLD DEBT AND POVERTY, Japan
Kiko Network, Japan
Kyoto Mizu to Midori wo Mamoru-Kai (Liaison group for Preservation of Water and Green in Kyoto), Japan
NAGOYA CENTER FOR PHILIPPINE CONCERNS, Japan
Network for Indonesian Democracy, Japan (NINDJA), Japan
Pacific Asia Resource Center (PARC), Japan
People to People Aid, Japan
WWF Japan, Japan
Institute for Climate Change Action, Korea
Korea Federation for Environmental Movement (KFEM) - Friends of the Earth Korea
Ecodev, Myanmar
Both ENDS, The Netherlands
Environmental Rights Action - Friends of the Earth Nigeria
Norges Naturvernforbund - Friends of the Earth Norway, Norway
Center for Environmental Law and Community Rights Inc (CELCOR) - Friends of the Earth Papua New Guinea
Alyansa Tigil Mina (ATM), Philippines
BAN Toxics!, Philippines
Bohol People's Art Development Center, Philippines

Central Visayas People's Network for Life and Environment, Philippines
Cordillera Peoples Alliance, Philippines
Farmers Development Center-Bohol, Philippines
KAPAKANAN-Bohol (Kabatan-onan Para sa Kalambuan sa Nasud), Philippines
KATRIBU Partylist, Philippines
Northern Media Information Network, Philippines
Philippine Movement for Climate Justice (PM CJ), Philippines
Visayas Primary Health Care Services-Bohol, Philippines
Women's Development Center in Bohol, Philippines
Euronatura, Portugal
groundWork - Friends of the Earth, South Africa
Taiwan Youth Climate Coalition (TWYCC), Taiwan
AIDS Access Foundation, Thailand
BIOTHAI Foundation, Thailand
Centre for Ecological Awareness Building (EAB), Thailand
Ecological Alert and Recovery - Thailand (EARTH), Thailand
Foundation for Consumers, Bangkok, Thailand
FTA Watch, Thailand
Greenpeace Southeast Asia, Thailand
Sustainable Development Foundation, Thailand
Thai Climate Justice Working Group (TCJ), Thailand
Thai Holistic Health Foundation, Thailand
The World Development Movement, UK
Accountability Counsel, US
Institute for Energy Economics and Financial Analysis, US
Montana Environmental Information Center, US
Oil Change International, US
Pacific Environment, US
Sierra Club, US

Cc: 内閣総理大臣 安倍 晋三 様
財務大臣 麻生 太郎 様
伊藤忠商事株式会社 代表取締役社長 岡藤 正広 様
電源開発株式会社 (J-POWER) 取締役会長 前田 泰生 様
電源開発株式会社 (J-POWER) 取締役社長 北村 雅良 様
株式会社三井住友銀行 頭取兼最高執行役員 國部 毅 様
株式会社みずほ銀行 取締役頭取 佐藤 康博 様
株式会社三菱東京UFJ銀行 頭取 平野 信行 様